【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成22年4月22日(2010.4.22)

【公開番号】特開2008-235953(P2008-235953A)
【公開日】平成20年10月2日(2008.10.2)
【年通号数】公開・登録公報2008-039
【出願番号】特願2007-67968(P2007-67968)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｎ　5/225　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/04　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　5/232　(2006.01)
Ｇ０３Ｂ　17/18　(2006.01)
Ｈ０４Ｎ　101/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｎ　5/225　Ｆ
Ｇ０３Ｂ　17/04
Ｈ０４Ｎ　5/232　Ｚ
Ｇ０３Ｂ　17/18　Ｚ
Ｈ０４Ｎ　101:00

【手続補正書】
【提出日】平成22年3月5日(2010.3.5)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】請求項１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【請求項１６】
被写体像を順次撮像する撮像手段と、表示手段と、画像データを記憶する記憶手段と、
当該カメラ装置の姿勢を検出する姿勢検出手段と、操作に応じて撮影モードとを選択的に設定するモード設定手段を備えるカメラ装置が有するコンピュータを、
前記モード設定手段により再生モードが設定されている状態において、前記撮像手段を停止させる一方、前記記憶手段から画像データを読み出して、前記表示手段に再生画像を表示させる再生制御手段、
前記モード設定手段により再生モードが設定されている状態において、前記姿勢検出手段により所定の姿勢が検出されたか否かを判断する第１の判断手段、
この第１の判断手段により前記所定の姿勢が検出されたと判断された場合、前記再生制御手段による再生画像の表示動作を維持した状態で前記停止している撮像手段を起動させる起動手段、
として機能させることを特徴とするプログラム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】カメラ装置及びプログラム
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００１】
本発明は、当該カメラ装置の姿勢に応じた制御を行うカメラ装置、及びこのカメラ装置に用いられるプログラムに関する。
【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００４】
本発明は、かかる従来の課題に鑑みてなされたものであり、不意の切り替え制御により再生画像の表示が中断されてしまうといった事態の発生を抑制して使い勝手を向上させたカメラ装置及びプログラムを提供することを目的とする。
【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００２０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００２０】
また、請求項１６記載の発明に係るプログラムにあっては、被写体像を順次撮像する撮像手段と、表示手段と、画像データを記憶する記憶手段と、当該カメラ装置の姿勢を検出する姿勢検出手段と、操作に応じて撮影モードとを選択的に設定するモード設定手段を備えるカメラ装置が有するコンピュータを、前記モード設定手段により再生モードが設定されている状態において、前記撮像手段を停止させる一方、前記記憶手段から画像データを読み出して、前記表示手段に再生画像を表示させる再生制御手段、前記モード設定手段により再生モードが設定されている状態において、前記姿勢検出手段により所定の姿勢が検出されたか否かを判断する第１の判断手段、この第１の判断手段により前記所定の姿勢が検出されたと判断された場合、前記再生制御手段による再生画像の表示動作を維持した状態で前記停止している撮像手段を起動させる起動手段として機能させることを特徴とする。